

■ 基礎科目・一般教育科目の特徴・目標

フレッシュマンセミナー

大学で学ぶ態度や方法は、高等学校までのものと異なることから、大学生活に早く慣れてもらえることを目標としています。全セミナーで共通テキストを使用し、①大学生活への適応・動機づけ、②礼儀・マナーの習得、③基礎的な学習技術の練習、④コンピテンシー育成を行います。

人生と職業（入門）（基礎学力）

主に就職を見据えて、基礎的な教養を身に付けていくことを目標としています。一般企業のSPI、公務員試験、教員採用試験など、就職活動の際には、いわゆる一般教養を問われる場面が多くあります。間近になって焦らないよう、特に公務員試験や教員採用試験の受験を真剣に考えているが、国語と数学に自信がない、という人には積極的に受講してほしい科目です。

人生と職業Ⅰ（キャリア形成と企業・業種研究）

進路・職業選択へ、具体的行動を起こすことをねらいとしています。将来像や職業像確立への動機づけと、業界・企業研究、職種研究による適性・能力を見極めた業種の絞り込みができるようにします。

人生と職業Ⅱ（筆記試験対策）

就職採用試験時に課せられ、また社会人として必要不可欠な基礎学力を身につけます。論理的な思考力、問題を解く処理能力の基礎を養います。

人生と職業Ⅲ（進路開発）

大学3年後期から始まる就職活動を、自分一人のできるようになる事を目標とします。具体的には、①大学生としての身のこなしができるようになる、②自分で履歴書が書けるようになる、③自分で作文の練習ができるようになる、④筆記試験を受ける上で、自分の学力を客観的に把握する、⑤面接の受け方を知る、⑥自分で受ける企業を選べるようになる、以上のことをマスターできるようにします。

■経済学科専門教育科目紹介（抜粋）

経済史

古代から中世を経て近代に至る人類の営みを、経済発展段階説の思考方法を用いて、時代ごとの特徴を大づかみに捉えながら全体の流れを理解できるようにします。

マクロ経済学

本来実践的な学問であるマクロ経済学の基礎を、実務や現実の視点を取り入れながら、日本経済、国際経済の理解を深めるという視点で学習していきます。

ミクロ経済学

市場の機能を理論的に分析する科目です。

経済政策総論

広く基本的な経済政策について、最新の日本の経済政策も考慮に入れながら学習していきます。

地方財政論

財政学での講義は主に中央政府の財政を内容としているのに対し、地方財政論は地方政府の財政活動を対象とする財政学の一分野です。地方財政に関する基礎的な知識を身につけることにより、身近な存在である地方公共団体をより良く理解します。

経済統計

経済活動のさまざまな側面を表す統計を経済統計と呼びます。まず、経済統計の特徴とその使い方を中心に学習し、その後、経済活動の代表的側面を示す公表されている経済統計を学習していきます。

環境経済学

地球温暖化、廃棄物、公害、生態系の破壊のように、注目を浴びている環境問題を経済学の視点で分析していきます。環境問題を分析するために必要な概念・考え方を学び、その後、それらの分析用具を利用し、実際の環境問題を分析していきます。

国際金融論

基礎編と応用編に分けて学習します。基礎編では、国際収支と外国為替を中心に学ぶとともに、その延長線上で国際金融取引場も概観します。応用編では、国際通貨制度、通貨統合、途上国問題などグローバルな問題について学習します。

■経営学科専門教育科目紹介（抜粋）

経営学原理

経営学は、企業をはじめとする複数の人間からなる組織と、その組織を運営していくためのマネジメントを研究対象とする理論的・実践的応用科学です。経営学の対象・方法・特質から、その生成・発展、そして組織論、戦略論等の重要な個別領域について概観し、経営学の全体像を理解できるようにすることを目標とします。

人事管理論

企業を経営資源の視点からみると、人・モノ・カネ・情報の4つからなるといわれています。人という資源は、企業組織の中で、単に肉体的な労力を提供する存在ではなく、意欲と知識やスキルをもって、能動的に他の3資源を調達し組み合わせ活用するきわめて重要な存在です。今日の企業経営の実務では、人的資源管理の発想や枠組みが大きく変わりつつありますので、最新動向の事例研究も交えて、新しい人的資源管理の枠組みについて学習していきます。

財務管理論

財務管理は、企業の資金調達と運用を管理の対象とします。この講義では、資金の調達と運用を円滑に、かつ安全に行うための管理と処理方法について学習します。

国際マーケティング論

資源と国内市場の環境に限りがある日本の企業は早くから世界に経営対象市場を開拓しました。厳しい環境を乗り越えて多国間に渡り成功的な国際経営を行っている世界有数企業の実例を考察しながら理論的な検証を行っていきます。

経営学史

経営学は「組織体を設計し、それを運営するための論理」という考えがあり、その考え方にそう形で経営学の歴史を眺めます。その上で、企業を永続させていくために考え出されて現在の主流となっている経営戦略論の中で、事業をどのような形で評価するのが好ましいか、様々な主張を学びます。

経営シミュレーション

シミュレーションとは、高価、困難、不可能、または危険である事象に対してモデル化し、コンピュータなどを用いた実験や計算を行い、その事象の予測や再現などを行うことで、経営シミュレーションとは①経営活動を抽象化やモデル化する、②モデルを実装する、③実装したシステムにおいて各シナリオを実行する、④シナリオの実行結果を分析して、評

価の高いシナリオを意思決定することです。この講義では、シミュレーションの基礎を習得し、モデルの抽象化や実装や分析などの手法を学習します。

簿記原理

簿記会計の基礎を学習し、簿記会計の入門的な基礎知識を身につけるための学習を行います。

会計学原理

9つの会計原則を習得することを目標とします。具体的には、①貸借一致の原則、②貨幣価値測定原則、③企業実体の原則、④継続企業の原則、⑤資産価値測定原則、⑥保守主義の原則、⑦重要性の原則、⑧実現主義の原則、⑨費用収益対応の原則です。

財務会計論

財務会計は外部報告会計であり、一定のルールに従って会計処理および表示がなされています。この講義では、そうした財務会計制度の説明やその制度的背景（考え方）について学習していきます。